

番号 _____ 名前 _____

・ 感覚に関する、以下の用語を説明しなさい。(各 4 点)

(1) 閾値 (閾値が高いとはどういうことか、も説明すること)

(2) 一次体性感覚野

・ 膝蓋腱反射をひきおこす同名筋に対する反射経路を、模式的に描きなさい。なお図には以下の名称を書き入れ、片側の感覚神経による反射経路が、脊髄の同側にあるか反対側にあるかがはっきりわかるように描くこと。(5 点)

(名称 : 後根、前根、後索、感覚神経(反射に関与する感覚神経の名称を書き入れること)、運動神経(であるか、 であるかも書き入れること)、白質、灰白質、筋肉、感覚受容器(反射に関与する受容器の名称を書き入れること))

・ 以下の経路は、上行路(脊髄から脳へ伝える経路)か下行路(脳から脊髄への経路)か。また脊髄白質内のどこ(後索、側索、または前索)に存在し、脊髄内で対側に交叉するか。またその経路が伝えるのは、どのような情報かを答えなさい。(各 5 点)

	上行・下行	存在場所	脊髄内交叉	伝える情報
錐体外側路 (外側皮質脊髄路)				
楔状束				
脊髄 視床路				

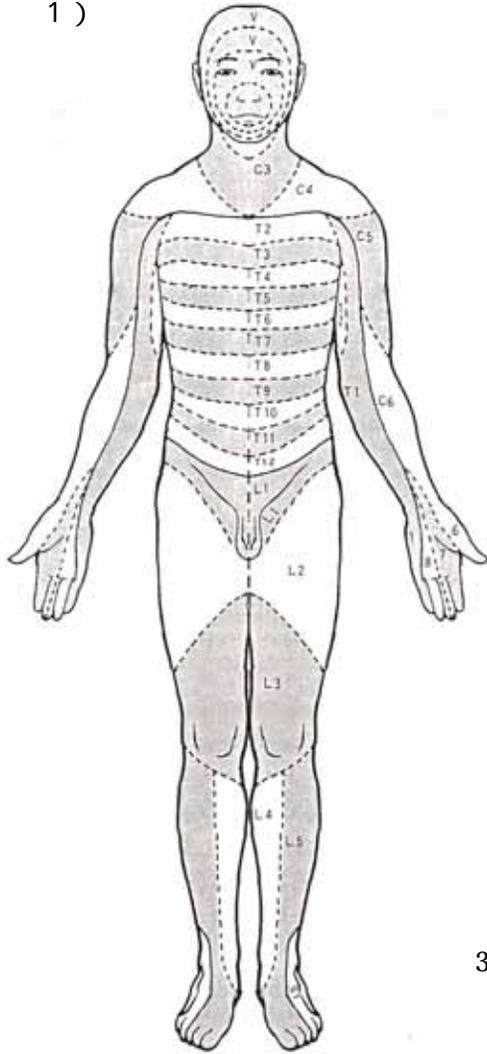
番号

名前

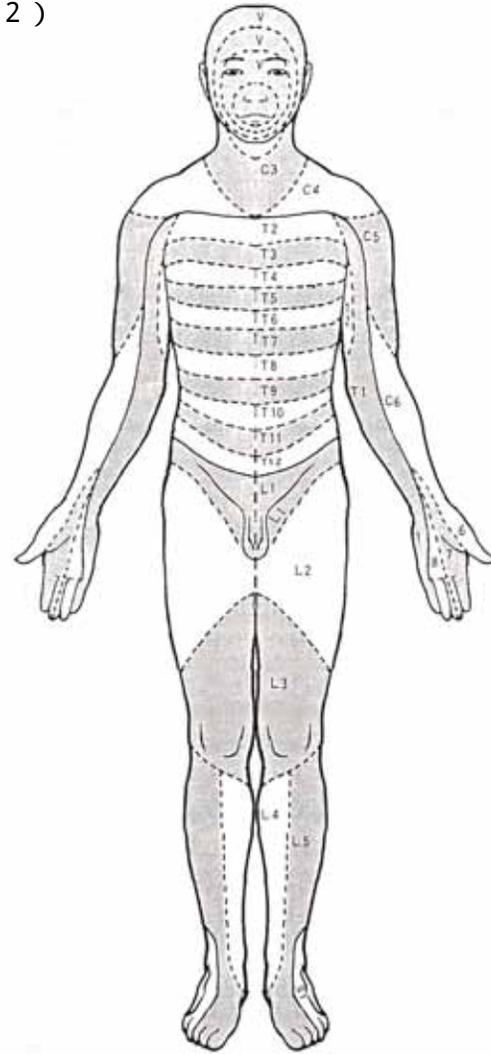
・感覚の伝導路の伝導障害により、様々な感覚麻痺が生じる。以下の場合には、身体の中のどの部分に感覚麻痺が生じるか、それぞれ図に書き入れなさい。なお感覚麻痺が起こる感覚の種類も、あわせて書き入れること。感覚の種類により麻痺の部位が異なる場合は、それぞれ書き入れなければならない。また運動麻痺が起こる場合には、これも書き入れよ。ただしここでは、脊髄神経による筋肉支配は皮膚感覚支配の部位と同じとする。(図は患者の側で書き入れなければならない。すなわち図の右側は、患者の左側である。)

- 1) 左側第 5、第 6 頸神経が障害を受けた。
- 2) 右側の第 10 胸髄が広く損傷を受けた。
- 3) 第 8 頸髄から第 2 胸髄で脊髄中心部に障害が起こり、左右間を交叉する軸索が変性脱落した。(各 4 点)

1)



2)



3)

